広報にいつ
発行所　新津市役所企画課
発行人　新津市長
電話代表550番
印刷所　坂爪印刷工業
毎月一回発行

人口動態

（昭和41年1月末日現在）

人口	57,173		
世帯数	12,000		
（1月中）			
出生	64	死亡	36
婚姻	39	離婚	0
転入	111	転出	162

文化都市への道程
住居表示の意味するもの

昭和三十七年五月に住居表示に関する法律ができ、いま全国的に住居表示事業が進められております。新津市でも、この住居表示事業を三ヶ年度から四ヶ年度までの三か年計画で完了するよう仕事を進めております。

ことしの第一年度分の事業を終り、昨年分（金沢一・二・三丁目・日宝町・中央町・新津本町・上善道、東善道、西善道、下興野の一部、中沢の一部、上山谷、下山谷、新柴町です。

この新しい住居表示により、これまで住所があらわすのに使ってきた地番が家の番号にかわりますが住居表示に関してみなさんから、いろいろご質問がありましたので、それにお答えするかたちで説明いたします。

私たちがいままで慣れ親しんできた地番による住所のあらわし方をなぜ変えなければならないのか

地番は明治四年地券制度の創設により、宅地を土地を特定する符号として税の徴収を目的として制されたものですが、明治三十一年の戸籍法改正により、戸籍の表示として番地という呼名で事務的に用いられたものが慣行的に一般化して来ので、住所を表示する面一筆の土地が広いため多数の家屋が同一地番で表示されたり、家屋が数筆の土地にまたがっているため、どの地番をもって表示すべきか明らかでないとか、土地の分、合筆は土地所有者の自由とされているため、売った、買ったりのうちに枝番号、ひどい場合は飛び番号ができます。

現在法令上の表示の面積は、現在なお多数の面積地があります。

常に多く、大学の新潟、法道、古田などが市街地のほとんどに入れ乱れていますが、これは創立以このように本来、住所を表示するために設けられたものでない地番を住所として使用されたものですが、これは大変な間違いです。郵便とか貨物の集配の場合、配達する人は本体一日に千軒ぐらいの作業区をもっており、ひとりの人が毎日約八百戸というたくさんの家に配達をしています。

郵便は住居表示で行なわれる

郵便などは配達人が一回そのうちへ入って、はずべく目的の家がわかるまで、二度、三度と行けばもうその家は確認できるのだから、なにもせっかくの番地を付け替える必要はないではないかと、一応考えられた県、市関係の近くまで行けば記憶を辿って思い出すこともできましょう。八百戸からの家が所在する何万もの住居表示の場所のなかで、ひとりの人が毎日約八百戸というたくさんの家に配達をしていることになります。二〇〇番地の佐藤という家はどこにあるかということは、そ

ですが、これは大変な間違いです。郵便とか貨物の集配の場合、配達する人は本体一日に千軒ぐらいの作業区をもっており、ひとりの人が毎日約八百戸というたくさんの家に配達をしています。二〇〇番地の佐藤という家はどこにあるかということは、そ

を表示するために設けられたものでない地番を住所として使用されたものですが、これは大変な間違いです。郵便とか貨物の集配の場合、配達する人は本体一日に千軒ぐらいの作業区をもっており、ひとりの人が毎日約八百戸というたくさんの家に配達をしています。二百戸からの家が所在する何万もの住居表示の場所のなかで、ひとりの人が毎日約八百戸というたくさんの家に配達をしていることになります。二〇〇番地の佐藤という家はどこにあるかということは、そ

ても、何処へ飛んでいるかわからない状態であり、住居符号である番地が混乱して、あっちへ飛びこっちへ飛びしていたり、どこへ行ったらよいかわからないわけで、その結果あると五分早くれば助かったというような生命にかかわる問題も出てきます。

郵便物の配達が遅れたり、間違って配達されたりする結果になります

郵便物の配達が遅れたり、間違って配達されたりする結果になります。

消防車とか救急車とか消防署とか急病人の手当ての医師が急病人の手当ての目的地に向う際は緊急にそれが目的地に到達しなければなりません。

何番地のどこそこの家に住居符号である番地が混乱して、あっちへ飛びこっちへ飛びしていたり、どこへ行ったらよいかわからないわけで、その結果あると五分早くれば助かったというような生命にかかわる問題も出てきます。

郵便物の配達が遅れたり、間違って配達されたりする結果になります

郵便などは配達人が一回そのうちへ入って、はずべく目的の家がわかるまで、二度、三度と行けばもうその家は確認できるのだから、なにもせっかくの番地を付け替える必要はないではないかと、一応考えられた県、市関係

創設四十年の記念事業
日本で一つの胡蝶型市立図書館
貴重な郷土資料目録発行

創設以来四十年を迎えた市立図書館が三月三日記念事業を行ないます。

当日は午前中、図書館の公開、午後は公会堂で千葉県の山口図書館長（市川市立図書館）を迎え「家庭婦人と読書」を題する公開記念講演を予定しています。

このほか四十周年記念事業として新津郷土資料目録第一集が編集発行されますが、これは創立以来集められた県、市関係の郷土資料約八百点のうち、徳川幕府時代の近世文書を除いた明治以降の図書、九百十九点、千二百三十四冊を収録した貴重な資料目録です。

市立図書館は四十年前（大正十四年）建想佑氏が新築した建物と蔵書を、そのまま新市に寄贈されたもので、アメリカ図書館の様式をとりいれた「三葉式胡蝶型図書館」とよばれる日本でただ一つの特異な建築物です。

当時としては目をみはるだけでなく、利用者の自由に直接出納から本をとりだせるような設計で、小図書館の模範として昭和二年文部省から表彰され、市の誇りとなっています。

図書館では、巡回文庫の発足、郷土資料の収集、各地区の図書室の開設、学校図書館の育成、視聴覚ライブラリーの開設、郷土資料の目録化、郷土資料の展示、郷土資料の貸出、郷土資料の出版、郷土資料の研究、郷土資料の保存、郷土資料の利用、郷土資料の普及、郷土資料の収集、郷土資料の整理